

令和6年度 自己評価・学校関係者評価に係る評価結果等報告書

学校番号 高小47

このとおり、学校評価について報告いたします。

高松市立香南小学校

	評価項目 (実践課題)	評価 4段階	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	確かな学力の育成に関すること (①小人数・専科指導の効果的な実践、②基礎的基本的な学力の定着、③学ぶ意欲、伝え合う力の育成)	3	「なぜ」や「もし」という問いかけを多く用いることで、深い学びにつなげることができた。低学年で、学習に対する姿勢を身につけておかなければ、中・高学年で改善するのは難しい。城山ノートへの取組を進める必要がある。	・校舎の移転があったが、子どもたちは新しい環境にも慣れ、整った環境の中で落ち着いて充実した学校生活を送れている。また、全体的にみると、学校の雰囲気もよいと感じる。子どもたちの様子も素直で伸び伸びとしている。
2	豊かな心を育てる教育の推進に関すること (①読書活動の推進、②道徳教育の推進、③栽培・緑化活動の推進)	3	図書ボランティアによる掲示や読み聞かせなど保護者と連携した図書館運営ができています。新校舎の環境に合わせた工夫した栽培活動ができています。座席の配置を工夫するなどして道徳における話し合い活動の充実を図りたい。	・小学校と地域との交流は活発に行っている。3年生からお礼の手紙をもらいその内容にとっても感動した。地域の防災訓練にも子どもたちがたくさん参加してくれている。
3	生徒指導の充実に関すること (①友達との小さなトラブルを学習の場とする学級づくり、②学習や生活のルールやマナーの徹底)	4	通常学級と支援学級の担任がきめ細かく情報共有することで、チームで児童を支援する体制が築けている。児童の実態に即した具体的な月目標が設定されている。また、評価の場(全校朝会)があるので児童も意欲的で誠実に取り組んでいる。	・学校の様々な取組を見ると、一人ひとりの子どもにきめ細かく対応し配慮がなされていると感じる。
4	運動に親しむ習慣づくりと体力の向上に関すること (①チャレンジタイムの実践、外遊びの奨励)	3	週に一度学級のみみんなで遊ぶ日を設定することで、積極的に外遊びを行うようになった。マラソンチャレンジの取組により体力づくりに励む児童が増えた。運動場で使える道具を増やしたり雨の日に体育館を開放したりするなどの取組を行う必要がある。	・自己評価結果では、「あいさつ」の項目が低い傾向にある。最近、あいさつをしてくれる子どもが減っているように感じる。
5	食育の推進と心身の健康づくりに関すること (①食に関する指導の充実、②「早寝・早起き・朝ごはん運動」の実践)	4	全国学校給食甲子園決勝大会で準優勝を受賞した。給食時の電子掲示板での食育のための掲示資料は、児童が自ら健康や栄養について考えることができています。生活チェックの情報を連絡帳等を通じて家庭と共有し、連携をさらに深めたい。	・自己評価結果では、「外遊び」の項目が児童、保護者ともに前期に比べて低くなっている。季節的な理由もあると思うが、「外遊び」や「体力づくり」の推進に一層取り組んでほしい。
6	人権教育の推進に関すること (①なかま学習による系統的な人権学習の推進、②自己肯定感や連帯感を高めるほめて伸ばす指導の実践)	3	長所を認めよう行動を見たときは、その都度ほめたり保護者にも伝えたりすることができた。今年度、なかま学習で4年生がLGBTについて学んだ。児童の実態に即して教材や内容を工夫しながら取り組んだ。さらに改善を図ってきたい。	・校舎が移転し校内環境が変わっている。旧校舎と同様、栽培や飼育などの情操教育にも工夫して取り組んでほしい。
7	特別支援教育の推進に関すること (①一人ひとりのニーズに対応した支援、②保護者や関係機関との連携)	3	分かりやすい語りかけや表示を通して、理解の伸長を図ることができた。個々の特性や困り感をもとに支援の手立てを具体的に用意し、児童が自発的に行動できるようになった。支援教室で学習しやすいよう環境整備に努めた。	・授業の様子を見ると、ICTを積極的に活用しており、情報活用能力も高いと感じる。中学校でも、もっと伸ばせるよう取り組んでいきたい。また、人権教育についての授業を見ても、子どもたちのコミュニケーション能力の高さを感じる。相手の気持ちや立場を考えた発表が行えている。
8	教員の資質の向上と教育指導体制の充実に関すること (①現職教育の充実、②服務規律の遵守、③ICT機器の活用)	4	前例にとらわれず新しい方法を取り入れるなどして創意・工夫のある授業にチャレンジした。新校舎への移転を機に、中学校と一緒に研修や交流する機会が増え、連携が深まっている。毎月のコンプライアンス研修は、教員の意識づけにつながっている。	・こども園との交流では、1年生の活動の様子を見て成長を感じる。小学校と子ども園が近くにあり、日常的に交流が行えている。保護者アンケートの評価も高い。
9	安心・安全で質の高い教育環境の整備に関すること (①危険な場での行動を考える学習や体験の工夫、②児童のための環境整備)	4	教室の前面掲示は必要最小限にすることで、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境を心がけた。支援教室では、自立活動の学びの足跡を掲示し、児童がイメージ豊かに振り返ることができるようになっている。	・香南校区は、自然災害面で比較的安全な地域であると思う。しかし、近年の自然災害の発生状況を見ると、災害に備えておく大切さを感じる。学校が避難場所になるので、緊急時の体制を整えておく必要があると考える。
10	家庭や地域との連携・協働に関すること (①信頼される学校づくり、②情報公開、③保護者への啓発)	4	連絡帳を通して、子どもの学校生活の様子を伝えたりミニお便りを貼ったりすることで、家庭との連携・協力が図られている。来校者や電話での丁寧な対応を心がけている。ブログをこまめに更新し学校の情報を発信することができた。	・不審者に関するメールが時々配信されている。地域として、下校時の見守り活動や健全育成の観点から取組を考えたい。少子化の現在、町民全体で子どもを育てることが大切だと思う。
11	働き方改革・業務改善に関すること (①時間外勤務の削減)	3	夏季休業中の研修をやめ公開授業も回数を減らした。負担軽減につながった。日々の業務については、スピード感をもって取り組んでいるが、なかなか難しい面もある。業務内容を見直すとともに思い切って削ることも必要だと感じる。	